

この夏、僕は

2025年令和7年
北海道教育大学
附属札幌小学校
4年1組馬場勲

線状降水帯🌧️なぜ起きる!?



↑2025年8月福岡にて線状降水帯に遭遇した時の写真

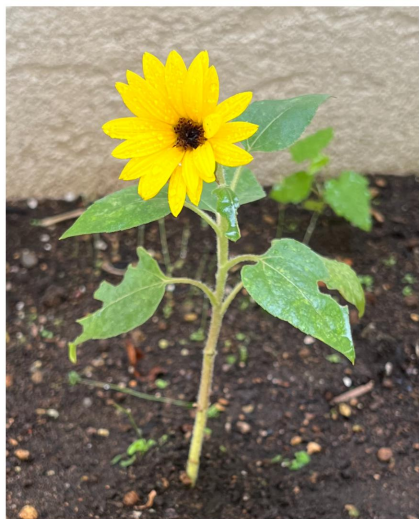
風×地形×気圧配置

最近よくニュースで聞く線状降水帯という言葉。この夏休みに行った福岡で僕は線状降水帯を体験しました。線状降水帯は、気圧配置、風、地形が大きく関係しています。九州地方は日本の中でも線状降水帯発生回数が多く、その回数は今年の八月までの過去十一年間で四十四回でした。九州地方は暖かく湿った風がぶつかり合う場所になってお

り、その風がぶつかり合うことで大きな積乱雲を発生させます。さらに筑紫山地や九州山地が壁となるため雲の移動が遅いことで線状降水帯が頻繁に発生していると考えられます。僕が体験した際は、道路が冠水したり近所のコンビニエンスストアに行くまでの二分間位で傘に穴が空きずぶ濡れになりました。雨や風があまりにも強かった

ため、その様子を写真や動画に収めることが困難でした。線状降水帯が発生すると洪水や土砂災害が発生し、生活に大きな支障をきたしますが、その正確な発生メカニズムはまだ解明されていないため今後も注目する必要があります。

ミニひまわりって何!?



石黒先生からもらったミニひまわり↑

この夏休み、家の庭に石黒先生からもらったミニひまわりが咲きました。ミニひまわりと道端でよく見る大きなひまわりとは何が違うのでしょうか？ミニひまわりとは、高さ一メートルを超えない品種を言います。大きなひまわりを改良して作られたもの

で、プランターやコンテナ栽培が可能になりました。ミニひまわりは草丈が六十〜七十センチのものを矮性種（わいせいしゅ）、三十〜五十センチにしないものを極矮性種と言います。実際に僕が育てたミニひまわりは総丈約二十センチとても小さく可愛いサイズでした。ミニひまわりは「子供の視線でも楽しめるひまわりがあると良いな」という思いから生まれたそうです。

ミニひまわりが、大きなひまわりと異なる点は、開花までの期間が短いという事と、花粉が少ないため種がつきにくいという事です。ひまわりは、大小の違いの他に花びらの色も品種改良されているそうです。

太宰府天満宮で

目的を果たす

福岡にある太宰府天満宮。僕には二つの目的がありました。一つ目は、御朱



夏休みに行った太宰府天満宮→

印帳と御朱印をもらうことです。年始めから集め始めた御朱印は現在十一枚になります。御朱印は神社やお寺を参拝した際にその証として授与することが出来ます。御朱印を集め始めた時から、御朱印帳は太宰府天満宮で買うと決めていたので、無事に買うことができてとても嬉しかったです。

二つ目の目的は、今年受験生の姉のために合格祈願をし、お守りを買うことでした。線状降水帯の真っ只中でしたが、その時だけは奇跡的に雨が小降りになり無事に参拝を済ませることができました。

とても風情がある神社なので、皆さんも是非行ってみてください。

編集後記

僕はこの新聞を書くこと決まった時、正直大変だなと思いました。理由はただただ皆さんの文字を打ち込む事になると思ったからです。しかし、記事を一つ、二つと書いていくうちにどんどん楽しくなっていきました。

た。本当に伝えたい事は何か、どんな表現を使えば人にうまく伝えられるのか、そのような事を考えて文章を作成しているうちにあつという間に記事が完成したように思えます。僕が書いた新聞はたったの一枚だけれども、本当の新聞は何ページもあるから凄いなと思いました。

このような貴重な経験ができた事に感謝します。

カナヘビ捕獲大作戦

学校で飼っていたカナヘビ。カナヘビは動きが速く捕獲が難しいと言われていたため「いつか捕まえてみたい」とずっと思っていたのですが、この夏遂にその

夢が実現しました。岩見沢冒険ランドという場所に友だちと行き、カナヘビを探すこと約一時間。遂に念願のカナヘビを発見！ところが逃げ足が速く、なかなか

捕まえることができませんでした。茂みや岩があると隠れてしまったため、場所を変えて搜索を再開。すると日光浴をしているカナヘビがたくさんいる場所を発見しました。最初は虫取り網でカナヘビを捕まえていましたが、徐々に素手でも捕まえることができるようになりました。初めてカナヘビを捕まえたときは大興奮してとても嬉しかったです。家に数匹連れて帰ると毎日日光浴をしたり餌のコオロギを食べたり、とても可愛い姿を見ることが出来ました。もう逃がしてしまいたけれど、みんな元気に過ごしていると良いな。